

平成24年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年7月31日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 夢テクノロジー

コード番号 2458 URL <http://www.yume-tec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐藤 真吾

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 佐藤 大央

TEL 03-5940-2215

四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第3四半期の業績(平成23年10月1日～平成24年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第3四半期	2,855	△11.0	207	93.9	222	107.6	214	—
23年9月期第3四半期	3,207	0.1	106	△22.7	107	△22.3	8	△82.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第3四半期	3,758.91	3,756.12
23年9月期第3四半期	156.95	156.86

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第3四半期	2,344	1,432	61.0
23年9月期	2,079	1,260	60.5

(参考) 自己資本 24年9月期第3四半期 1,428百万円 23年9月期 1,257百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年9月期	—	0.00	—	—	—
24年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,800	△9.4	200	59.8	200	58.7	180	—	3,152.36

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無になります。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年9月期3Q	57,120 株	23年9月期	57,100 株
24年9月期3Q	— 株	23年9月期	— 株
24年9月期3Q	57,105 株	23年9月期3Q	56,718 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予測数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因によって大きく異なる可能性があります。上記予想数値に関する事項につきましては[添付資料]P. 3「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) セグメント情報等	7
(6) 重要な後発事象	7
5. 補足情報	8
(1) 生産、受注及び販売の状況	8
(2) 各会計期間における予想対比について	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における我が国経済は、復興関連需要などから緩やかな回復基調で推移したものの、依然として続く円高、電力供給不足の不安などがあり、景気の先行きは不透明な状況であります。

当社の顧客企業が属する自動車・電気機器・半導体等の製造業界におきましては、円高、欧州の景気後退が続いているものの、輸出企業を中心に一定の生産回復の兆しが見受けられました。また、平成23年12月からのエコカー補助金再開に伴い自動車販売が好調に推移したことにより、企業収益の改善につながりました。さらに、情報系エンジニアの派遣先となるIT業界において、ここ数年抑制していた各企業のシステム投資が持ち直しの動きをみせております。

このような事業環境の下、当社では、需要が高まってきている業界に対応できる技術者の採用強化に取り組むと共に、コスト管理の徹底、営業の効率化による稼働率の改善に注力しました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高2,855百万円（前年同期比11.0%減）、営業利益207百万円（前年同期比93.9%増）、経常利益222百万円（前年同期比107.6%増）、四半期純利益214百万円（前年同期は四半期純利益8百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の分析

当第3四半期会計期間末における総資産の残高は2,344百万円（前事業年度末は2,079百万円）となり264百万円増加いたしました。

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は1,814百万円（前事業年度末は1,931百万円）となり116百万円減少いたしました。

主な要因は、現金及び預金の増加（859百万円から1,233百万円）があったものの、貸付金の減少（500百万円から一百万円）によるものであります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は529百万円（前事業年度末は148百万円）となり381百万円増加いたしました。

主な要因は、投資有価証券の増加によるものであります。

当第3四半期会計期間末における負債の残高は912百万円（前事業年度末は819百万円）となり92百万円増加いたしました。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は516百万円（前事業年度末は549百万円）となり32百万円減少いたしました。

主な要因は、賞与引当金の減少によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は395百万円（前事業年度末は270百万円）となり125百万円増加いたしました。

主な要因は、長期借入金の増加によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は1,432百万円（前事業年度末は1,260百万円）となり171百万円増加いたしました。

主な要因は、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第3四半期累計期間の業績は、概ね計画通り進捗しており、平成24年9月期通期の業績につきましては、平成24年4月27日付「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減却償却の算定方法

定率法を採用しているものについては、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法としております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	859,754	1,233,353
受取手形及び売掛金	525,620	507,345
関係会社短期貸付金	500,000	—
その他	50,067	74,103
貸倒引当金	△4,134	△153
流動資産合計	1,931,309	1,814,649
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,233	4,197
工具、器具及び備品（純額）	12,302	8,016
有形固定資産合計	16,536	12,214
無形固定資産		
投資その他の資産	38,617	30,301
投資有価証券	0	422,445
敷金及び保証金	92,684	64,023
その他	634	622
投資その他の資産合計	93,319	487,091
固定資産合計	148,473	529,606
資産合計	2,079,782	2,344,256
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	—	40,000
未払金	38,098	32,951
未払費用	251,991	247,480
未払法人税等	10,177	7,878
未払消費税等	27,355	28,287
賞与引当金	170,317	63,007
その他	51,145	96,886
流動負債合計	549,086	516,492
固定負債		
長期借入金	—	140,000
退職給付引当金	266,441	252,292
その他	3,759	3,457
固定負債合計	270,200	395,749
負債合計	819,287	912,242

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	869,400	869,650
資本剰余金	346,356	346,606
利益剰余金	41,595	256,248
株主資本合計	1,257,352	1,472,504
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	—	△43,633
評価・換算差額等合計	—	△43,633
新株予約権	3,142	3,142
純資産合計	1,260,494	1,432,014
負債純資産合計	2,079,782	2,344,256

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)
売上高	3,207,627	2,855,506
売上原価	2,536,621	2,130,150
売上総利益	671,005	725,356
販売費及び一般管理費	564,140	518,158
営業利益	106,865	207,198
営業外収益		
受取利息	129	1,647
受取配当金	—	2,471
有価証券売却益	—	12,359
貸倒引当金戻入額	—	3,981
助成金収入	—	2,133
その他	1,634	1,299
営業外収益合計	1,764	23,892
営業外費用		
支払利息	551	2,552
支払手数料	—	3,863
その他	1,037	2,502
営業外費用合計	1,588	8,918
経常利益	107,041	222,172
特別利益		
受入助成金	24,052	—
事業構造改善費用等戻入益	41,859	—
その他	42	—
特別利益合計	65,954	—
特別損失		
固定資産除却損	—	545
特別退職金	16,849	—
雇用調整支出金	38,477	—
震災に伴う停電時休業手当	8,072	—
アドバイザー費用	25,998	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,966	—
特別損失合計	92,363	545
税引前四半期純利益	80,632	221,626
法人税、住民税及び事業税	4,852	6,974
法人税等調整額	66,878	—
法人税等合計	71,730	6,974
四半期純利益	8,901	214,652

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期累計期間（自 平成22年10月1日 至 平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	エンジニアアウトソーシング事業	N&Sソリューション事業	ビジネスソリューション事業	
売上高				
外部顧客への売上高	2,763,969	338,653	105,004	3,207,627
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	2,763,969	338,653	105,004	3,207,627
セグメント利益	99,646	4,593	2,625	106,865

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項ありません。

II 当第3四半期累計期間（自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	エンジニアアウトソーシング事業	N&Sソリューション事業	ビジネスソリューション事業	
売上高				
外部顧客への売上高	2,451,271	370,289	33,946	2,855,506
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	2,451,271	370,289	33,946	2,855,506
セグメント利益又は損失(△)	184,006	29,016	△5,823	207,198

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項ありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当社が行うエンジニアアウトソーシング事業は、提供するサービスの性格上、生産実績に馴染まないため、当該記載を省略しております。

②受注実績

当社が行うエンジニアアウトソーシング事業は、受注時の業務量がその後の顧客の要望に合わせて変更することが多く受注状況を正確に把握することが困難であるため、当該記載を省略しております。

③販売実績

事業部門	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間		前事業年度	
	(自 平成22年10月1日 至 平成23年6月30日)		(自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)		(自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
エンジニアアウトソーシング事業	2,763,969	86.2	2,451,271	85.8	3,633,812	86.6
N&Sソリューション事業	338,653	10.6	370,289	13.0	454,419	10.8
ビジネスソリューション事業	105,004	3.2	33,946	1.2	108,427	2.6
合計	3,207,627	100.0	2,855,506	100.0	4,196,658	100.0

(注) 上記金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 各会計期間における予想対比について

(単位：百万円)

	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		通期	
	売上高	経常利益	売上高	経常利益	売上高	経常利益	売上高	経常利益	売上高	経常利益
予想値 (A)	950	50	950	50	960	45	940	55	3,800	200
決算値 (B)	985	91	948	81	922	48				
達成率 (B/A)	103.7	184.0	99.8	163.7	96.1	107.5				
(ご参考) 前期実績 (平成23年9月期)	1,096	25	1,063	52	1,047	29	989	18	4,196	125
前年同期比	89.9	365.4	89.1	155.4	88.0	165.6				

(注) 上記金額には消費税等は含まれておりません。